

国道強靱化への対策

質問Ⅱ 194号・439号への強靱化対応は
答弁Ⅱ 危険箇所を整備促進を図る



筒井 こうじ 議員

平成30年7月豪雨では国道32号・33号、高知自動車道が通行不能となり、国道194号・439号に多くの車両が集中したが、災害に強い国道とするため、今後どのように整備していくのか。

日高村に日下く能津地区間にトンネル建設を求める期成同盟会が設立されたが、どのように係わるのか。

「榑山トンネル」の着工が決定したが「榑ヶ峰トンネル」建設に向けての活動状況は。

久松副町長

平成30年の7月豪雨では、周辺道路の不通により、国道194号への迂回車両が多く、改めて地域生活、防災に直結する重要な路線と認識した。高知県においては高知県強靱化計画に基づき、大規模災害においても緊急輸送道路を確保するため、啓開道路の耐震補強化、橋梁に代わる擁壁工による改良、道路法面対策を継続して行っていくと聞いているので、引き続き要望していく。

日下く能津地区間を結ぶトンネルについては、効果は認識しているが、現段階では今後の動向を見守っていく。

門脇吾北総合支所長

「榑ヶ峰トンネル」については、広報活動として建設促進パンフレットの配布や、看板を設置している。

活動としては、中央西土木事務所、高知土木事務所、高知県土木部、国への要望を継続して行ってきた。県道高知伊予三島線の改良も併せて要望しており、徐々に1.5車線化も進んでいる。南海トラフ地震、豪雨など災害時に瀬戸内圏から県都へのアクセス可能ルートの一として、支援物資の調達や避難路としての役割を果たし、地域の安心、安全に生活していく上でも重要であると考え、早期の事業化を実現するため、県・国に要望活動を行う。



超高速ブロードバンド整備

質問Ⅱ 整備可能地域はどこか
答弁Ⅱ 具体的には確定していない

筒井議員

令和2年度より、民営民営方式で整備を進めるため、令和元年5月末をめぐって未整備地区の加入希望者調査を行ったと報告を受けているが、整備可能地域はどこか。

また、複数年での整備と何年の予定か。

整備されない地域へのモバイルルーターの購入費用の助成の内容は。

筒井総合政策課長

現在、調査内容を取りまとめ中なので、具体的な整備可能地域は確定していない。確定には通信事業者との協議が必要となるので、今しばらく期間が必要となるが、来年度からの整備に向けて作業を進めている。

整備期間は現時点で正確に答えられないが、他市町村の状況から判断すると2～3年程度と予想している。

る。なお、補助事業の採択状況などにより、期間延長となる可能性もある。

モバイルルーターの購入費用の具体的な助成の内容は確定していない。未整備となる地域が判明したら、超高速ブロードバンドの整備年度にかかわらず、早急な対応を検討する。

筒井議員

吾北・本川地区住民、特に企業は一日も早い整備を望んでいる。広い地域に早期に整備されるよう通信事業者に強力に要望せよ。

筒井総合政策課長

情報格差の是正や事業所の通信環境の改善、移住や起業、観光振興などにおいても整備は重要であると考えられているので、今後も早期整備に向けて通信事業者と協議を進めていく。